

く に び み

広 報

NO.477

平成25年4月
2013.

4



◆ 今月のおもな内容 ◆

特集 閉園	2
3.11 震災から2年	6
平成25年度当初予算	8
太陽光発電補助	18
復興のあしおと	21
まちのわだい	22
保健だより	25
笑顔のひろば	27
くらしの情報	28
生涯学習つうしん	30

さよなら ぼくたちのほいくえん

今年3月で閉所される大枝・大木戸季節保育所では、最後の閉所式が開かれました。最後の修了児となる子どもたちは、大きな声でお別れの歌を歌い、思い出のいっぱい詰まった教室中に元気な声が響きわたりました。



会場に最後の園歌が鳴り響く♪



—特集—

閉園

まちの幼稚園が一つになる

平成 25 年 3 月、藤田幼稚園と森江野幼稚園が長い歴史に幕を閉じました。幼稚園統合シリーズの 2 回目は、それぞれの幼稚園での最後の修了式・閉園式の様子と幼稚園の歴史をお届けします。

最後の修了式・閉園式
今年 3 月で閉園となる藤田幼稚園と森江野幼稚園では 3 月 18 日、最後の修了式・閉園式が行われました。式では、それぞれの幼稚園で最後となる卒園児一人一人に森口智典藤田・森江野幼稚園長から修了証書が手渡されました。
園長式辞に続く、来賓祝辞では、太田久雄町長、八島博正議長が、両幼稚園の閉園にあたり、これまでのご支援への感謝の言葉を述べた後、代表園児に記念品が授与されました。
園児たちからの「別れのことば」では、幼稚園での思い出と、「大好きだったこの幼稚園ともお別れ、閉園です。とてもさびしいけれど、この幼稚園で楽しく過ごしたことを忘れません。大好きだった藤田(森江野)幼稚園、さようなら」とお別れの言葉が述べられました。
幼稚園で歌う最後の歌となる園歌斉唱では、会場中

藤田幼稚園の歌

一 朝日をあびた
あつかしが
「元気みんな」と
呼びかける
「元気」「元気」
こだまがかえる
よい子がつどう
藤田幼稚園

二 豊かさたえ
あぶくまが
「仲良しみんな」と
見つめてる
「明るい」「明るい」
笑顔がそろう
よい子がつどう
藤田幼稚園

作詞 島腹 順一
作曲 板垣 忠直

森江野幼稚園の歌

一 みどりがひかる
国見山
もりの小鳥が
チュンチュンと
みんな 仲良く
あそぼうよ
たのしい
もりえのようちえん

二 いねがみのるよ
青い空
りんごのほっぺで
ニコニコと
みんな仲良く
はなそうよ
あかるい
もりえのようちえん

作詞 遠藤 強夫
作曲 立花 和夫



担任の先生から園児一人一人に花束が渡されました(藤田幼稚園)

に子どもたちの大きな声が響き渡りました。
最後に、森口園長から太田久雄町長に藤田・森江野それぞれの幼稚園の園旗が返納され、両幼稚園の長い歴史が幕を閉じました。
今後、藤田幼稚園園舎は、国見小学校の学童保育施設として、森江野幼稚園園舎は、くにみ幼稚園の預かり保育スペースとして、再び子どもたちの元気な声が返って来ます。
長く歴史のある藤田・森江野幼稚園の伝統は、町の宝である「子どもたち」の思いをのせて、くにみ幼稚園へと引き継がれます。



園旗返納(森江野幼稚園)



別れのことば(藤田幼稚園)



別れのことば(森江野幼稚園)



記念品授与(藤田幼稚園)



記念品授与(森江野幼稚園)



修了証書授与(藤田幼稚園)



インペリアル 蘇る

～ ベーゼンドルファーの音色が響く♪～

きしのよしこ 木住野佳子さんライブ

震災以降、一度も演奏されなかったピアノの名器「ベーゼンドルファー」あの日から2年の歳月が経ち町民の宝が、再び蘇りました

3月3日、観月台文化センターで何度も演奏している木住野佳子さんのライブが行われました。きしのさんは東京出身。数多くの演奏活動の傍ら、ベーゼンドルファーのオフイシヤルアーティストとしても活動されています。震災後は、各地でのチャリティ演奏などを精力的に活動しています。木住野さんは、3年ぶりの観月台での演奏を前に「国見町の外観は、震災前と変わらない感じがしました。放射能など目に見えないものと戦っているみなさんを音楽の力で勇気づけたい。」と語りました。

2年ぶりのコンサートとなったインペリアルですが、懸命な保守により見事な音色が甦りました。木住野さんは「離れたいた彼氏と再会したような気分。ピアノの状態は良く、機嫌よく音が出ていた。」と話されました。ライブでは、ピアノ演奏と共に町内在住の詩人でもある内池和子さんの「漂流する秋」の詩の朗読が行われました。最後には、来場者と「ふるさと」を合唱しライブは終了しました。きしのさんは、「ホールが復活したら、ぜひ観月台で演奏したい」と述べられました。



木住野佳子さん



生まれたばかりの翔太君 (0歳)



1歳になった頃の翔太君

3・11 震災から 2年

あの東日本大震災から復興に向かって前に進んでいます。そこで、ここでは2つの話題を紹介しします。

プロフィール

- ・性別：男の子
- ・好きな食べ物：果物、特にイチゴ
- ・どんな性格：気が強い、元気で活発
- ・好きな遊び：外遊びが大好き

翔太君について 家族の方に聞きました

Q…どんなことに興味を持っていますか？
A…シヨベルカーなどの重機に興味があり、外で重機の音が聞こえるとよく反応します。おもちゃの重機も好きです。

Q…外で遊ぶことはありませんか？
A…家の庭は、自分達で除染したので遊ばせています。走ったり、おもちゃの車に乗って遊んだり、祖父に作ってもらった砂場で遊んだり、鉄棒にぶら下がったりして遊ぶのが好きです。

Q…ご両親がこの2年間で、一番大変だったことは何ですか？
A…子どもたちを本当に外で遊ばせていいものか悩みました。当時は、神経質になっていました。今は、家の庭では遊ばせています。

Q…国見町で子どもを育てて行くうえで、気になっていることはありますか？
A…子どもたちの遊び場が少ないことです。安心して遊べる場所が少ない。どうしても、放射線を気にして不安になります。

Q…将来、どんな子に育ててほしいですか？
A…元気にたくましく育ってほしい。健康でいてほしいと心から思っています。



詩を朗読する内池和子さん



ピアノ演奏を披露する木住野佳子さん



砂遊びをする翔太君

平成23年3月11日
一人の命が誕生しました
震災直後に生まれ、
元気な子に成長しています

あの日生まれた命 すくすく成長



すずきしょうた 鈴木翔太君 (2歳)

平成25年度 一般会計当初予算額は

76億円

平成25年度国見町各会計予算は、3月定例議会において議決され、4月より執行されました。第5次国見町振興計画の5本の政策を引き続き推進するとともに、国見の未来をつくる5つの柱である「東日本大震災の早急な復旧・復興」、「安全安心な町政の実現」、「活力ある町政の実現」、「思いやりのある町政の実現」、「国見町の継続的な維持発展」を推進し、東日本大震災復興計画と合わせた各種事業を強力に進めてまいります。

■特別会計 (単位：千円)

会計名	予算額	増減率
山長育英財産	645	0.0
国民健康保険	1,292,526	1.5
後期高齢者医療	101,255	3.8
介護保険	945,916	8.0
濁水対策施設	6,750	△11.2
公共下水道	245,400	△11.1
土地開発事業	58,800	△50.2
計	7,607,395	△3.3

■財産区会計 (単位：千円)

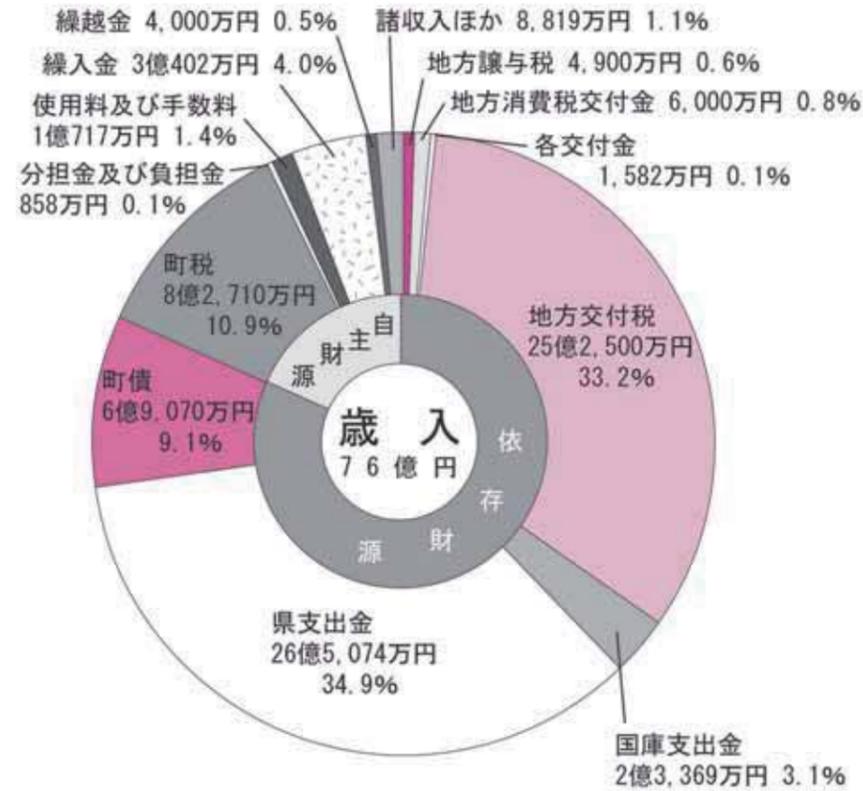
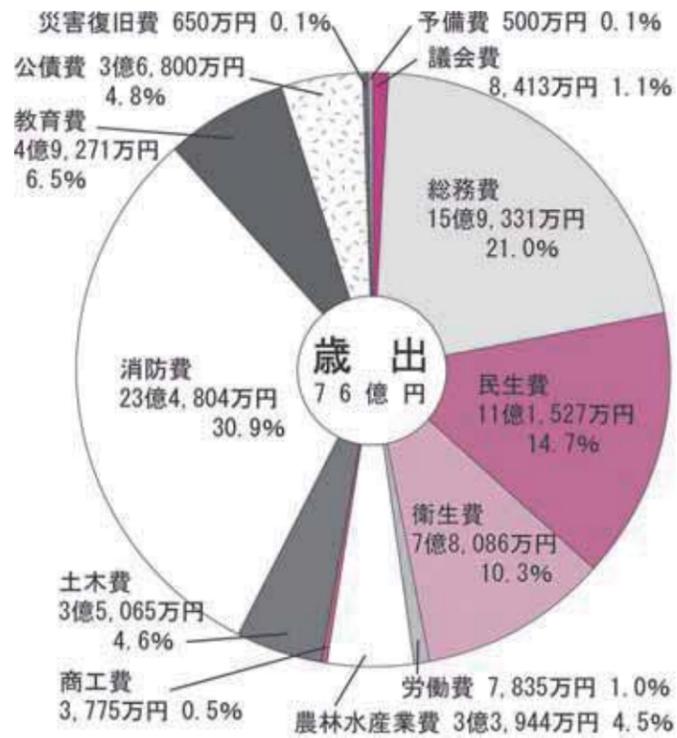
会計名	予算額	増減率
大木戸財産区	157	0.0
入山財産区	186	0.0
各財産区の管理に要する経費を計上しています。		
石母田財産区	648	40.9
(石母田財産区議会により議決)		

■公営企業水道事業会計 (単位：千円)

区分	収入	支出
収益的収支	232,440	218,577
資本的収支	37,251	57,803

■一般会計性質別内訳 (単位：千円)

性質別	予算額	増減率
義務的経費	1,692,057	△0.9
人件費	967,545	0.9
扶助費	356,516	3.6
公債費	367,996	△8.9
一般的経費	3,931,595	115.5
物件費	2,801,005	255.0
維持補修費	3,976	△53.2
補助費等	1,126,614	9.7
投資的経費	1,539,835	289.7
普通建設事業	1,533,335	288.1
補助事業	177,028	13.5
単独事業等	1,356,307	467.2
災害復旧費	6,500	324,900.0
その他の経費	436,513	△7.9
投資及び出資金	12,000	△33.3
貸付金	38,500	11.1
積立金	985	△38.6
繰出金	380,028	△8.3
予備費	5,000	0.0
合計	7,600,000	72.7
*うち人件費総額	1,003,469	1.2



歳出では、除染対策事業の本格化を推進を図り、さらには庁舎建設の実施に向け、そして第5次国見町振興計画の実現及び復興計画の推進に重点を置いた予算となっており、また、まちづくり交流を推進するための組織改編を行うとともに、町民相談室を開設する経費などを計上しています。

目的別の内訳では、消防費が一番多く、除染対策事業の積極的な実施を行うこととしています。次に総務費では、庁舎建設事業の実施のための費用を計上しています。公債費では、前年度に繰上償還を行ったため前年度比8.9%の減となつています。新たに労働

歳入では、自主財源の基本となる町税が、震災による固定資産税の減等により5千2百万円が減となり、町民税では震災復興の進展により、3千2百万円の増、一方軽自動車税では前年同額、町たばこ税で2百万円の増により、総額8億2千7百万円、前年度比2.1%の減となりました。

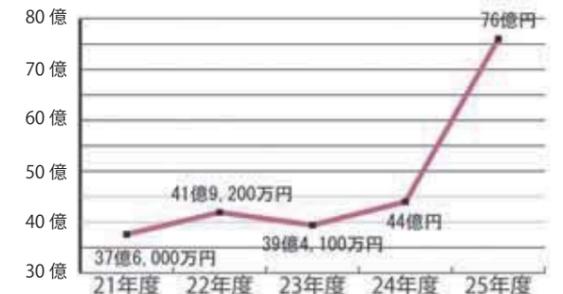
国・県支出金については、除染事業や幼稚園統合事業実施に必要な額を計上したため、21億円余りの大幅に増加していますが、地方譲与税や各交付金については、ほぼ前年並みとなりました。

この結果、歳入総額に対し、町税等の自主財源は18.1%、地方交付税、町債等の依存財源が81.9%となりました。

費を新設し、緊急雇用創出基金事業等の経費について計上し、商工費においては、まちづくり交流推進にかかる経費を計上しています。性質別の内訳では、除染対策事業費の大幅な増により物件費が255.0%の増となり、公債費は前述のとおり減少となつていますが、人件費とあわせて義務的経費では1千5百万円弱、0.9%の減となつています。普通建設事業費では、庁舎建設事業により11億3千8百万円強、288.1%の大幅な増となり、その他の経費を合わせた一般経費は21億7百万円余り、115.5%の増となりました。詳細は性質別内訳表のとおりです。

普通建設事業等に充当する町債は、庁舎建設事業費の伸びにより増となりますが、町債残高の減額に努めながら、必要な歳入の不足財源を補うため、前年度に続き財政調整基金から1億6千3百万円弱を繰り入りました。また、地方交付税は、震災復興特別交付税により増額され、当町においても前年度比6億7千5百万円の収入増を見込んでいます。

一般会計当初予算額の推移



24年度と比較して32億円の増額(72.7%の増)となりました。



参加者に走塁のアドバイスをする水野雄仁さん

復興・絆

元読売巨人軍投手 水野雄仁氏が指導 野球教室&講演会

元読売巨人軍投手

元プロ野球読売巨人軍投手で野球評論家の水野雄仁さんによる復興・絆「野球教室・講演会」が3月16日、上野台運動公園総合運動場及び観月台文化センターで開催されました。

野球教室では、国見スポーツ少年団の団員37人と県北中野球部18人が参加し、水野さんからベースランニングのコツや投球、バッティングのポイントの指導を受けた後、最後に一人1球勝負で水野さんと対戦しました。

講演会では、「私の野球人生」と題して、これまでの人生で学んだことを中心に、ユーモアを交えて「強い思いがないと始まらない。強い気持ちを持って進んでほしい」と参加者を励まし、会場を埋め尽くした町民の皆さんに元気を届けました。



国見ソフトボール
スポーツ少年団
主将
佐藤空大さん

今日、教えてもらった投げ方やバッティングの仕方をしっかり身につけ、中学校で活躍できるように頑張りたいです。



県北中学校野球部
主将
鈴木晴馬さん

今日、水野さんから指導を受けて、バッティング、走塁、守備など、今までわからなかったことを学ぶことができたので、試合でいかせるようにしたいです。



バッティングの指導を受ける参加者



投球のフォームを学ぶ参加者



III 生きがいをもって、いつまでも楽しく働けるまち

水田農業改革支援事業	615万円
穿孔細菌病防除事業	600万円
東日本大震災農業生産対策交付金事業	1億円
有害鳥獣対策事業	1,485万円
中山間地域等直接支払事業	1,353万円
産地生産力強化総合支援事業	2,200万円
吸収抑制対策事業(24年度からの繰越事業)	1億円
商工業振興事業	1,508万円
シルバー人材センター助成事業	320万円
緊急雇用創出基金事業	7,511万円
特産品開発事業	60万円
まちづくり交流推進事業	1,347万円
観光写真素材収集委託事業	10万円
交流の広場整備事業	500万円

IV 地域の資源(たから)を受け継ぎ、心豊かな人を育むまち

幼稚園運営事業	2,784万円
預かり保育事業	1,779万円
町立保育所運営事業	4,744万円
放課後児童健全育成事業	1,955万円
屋内遊び場整備事業	2,310万円
小中学校施設整備事業	1億4,912万円
教育の充実事業	5,113万円
生涯学習推進事業	6,027万円
芸術文化振興事業	521万円
スポーツ振興事業	2,727万円
文化財保護管理事業	1,402万円

V あたたく助けあう自主自立のまち

自治振興事業	2,105万円
広報広聴事業	376万円
選挙執行事業	703万円
外国人青年招致事業	541万円
庁舎建設推進事業	10億2,261万円
e-L T A Xサービス事業	388万円
コンビニ収納推進事業	57万円
電子自治体推進事業	6,885万円
文書管理事業	416万円
住民基本台帳ネットワーク事業	517万円
戸籍事務事業	590万円

平成25年度原発災害対策事業費は、**21億401万円**

- ◆主なもの
- 除染作業委託、仮置き場設置工事

平成25年度 まちづくりの 主な事業

I 地域の資源(たから)を活かし、自然と調和したまち

松くい虫防除事業	1,246万円
造林事業	1,803万円
林道整備事業	1,060万円
し尿・ごみ処理対策事業	8,516万円
原発災害対策事業(除染、仮置き場等)	21億401万円
水道施設整備事業(水道事業会計)	4,972万円
下水道整備事業(公共下水道事業特別会計)	8,245万円
合併処理浄化槽設置整備事業	1,938万円
国見ニュータウン開発事業(債務負担)	5億5,000万円
町営住宅維持管理事業	1,838万円
都市計画マスタープラン策定事業	1,000万円
町道整備事業	5,750万円
街路照明整備事業	1億円

II 互いに支え合い、安心して暮らせるまち

子ども医療費助成事業	5,035万円
児童手当給付事業	1億3,745万円
健診(検診)事業	1,812万円
予防接種事業	2,447万円
放射線対策健康管理事業	2,250万円
公立藤田総合病院負担金事業	5億2,971万円
高齢者医療制度推進事業	2億4,159万円
国民健康保険事業	13億9,962万円
いきがい対策事業	1,221万円
高齢者福祉サービス事業	11億2,974万円
障がい者支援対策事業	1億3,784万円
健康増進計画策定事業	310万円
地域福祉推進事業	1,601万円
防災対策事業	9,271万円
消防、救急対策事業	1億7,257万円
防犯対策事業	694万円



農地の除染作業

国見町職員組織表

町長 太田久雄 副町長 佐藤弘利 教育長 岡崎忠昭 平成25年4月1日現在

課名	参事及び課長	主幹及び課長補佐	係名	係長	係員
総務課	菅野 信朗 (町民相談室長)		庶務係 ☎ 585-2112	安藤 充輝	八島 章 村木 貴紀
			財政係 ☎ 585-2114	佐藤 智昭	《宮城昭三》 佐藤 孝法 戸田 良樹
			町民相談室 ※電話番号は決まり次第お知らせします。	課長兼務	(嘱託員2名)
企画情報課	菊地 弘美		企画情報係 ☎ 585-2927	半澤 一隆	黒田 典子 鎌水 竜一
			国土調査係 ☎ 585-2967	阿部 善徳	
税務課	阿部 正一	補佐 佐藤光男	課税係 ☎ 585-2778	(佐藤 光男)	松野 雪子 小野 笑子 佐久間法仁 松浦 昭太
			収納係 ☎ 585-2780	実沢 隆之	羽田 雄磨 横山 彰
住民生活課	吉田 義勝	補佐 黒木浩子 補佐 澁谷康弘	戸籍係 ☎ 585-2115	(黒木 浩子)	大津 香織 熊谷 朋子
			住民防災係 ☎ 585-2116	(澁谷 康弘)	加藤 克洋 舟山 将
保健福祉課	佐藤 克成 (地域包括支援センター所長)	補佐 蓬田恭子	保健係 ☎ 585-2783	(蓬田 恭子)	佐藤 薫 大内 恵 阿部 晃子
			国保係 ☎ 585-2785	大勝 宏二	車田 沙織 板垣 慶太 三村 知子
			社会福祉係 ☎ 585-2793	佐藤 温史	五十嵐佐和 佐々木浩典 (嘱託員1名)
			長寿介護係 ☎ 585-2125	東海林八重子	実沢美代子 佐藤 光
			地域包括支援センター ☎ 585-2702	課長兼務	(東海林八重子) 高橋由香里 佐藤 和也
産業振興課	引地 真	補佐《小林 孝》	産業振興係 ☎ 585-2986	中條 伸喜	(中野 敬一) (佐藤 貴浩) 後藤 拓太 鈴木 巧
			まちづくり交流推進室 ☎ 585-2132	(小林 孝)	野村 康宏
農業委員会	局長 (引地 真)		農業委員会 ☎ 585-2890	中野 敬一	佐藤 貴浩
建設課	松浦 昭一		建設係 ☎ 585-2971	佐藤 智宏	徳江 雄太 佐藤 貴裕
			管理係 ☎ 585-2972	渡邊 和巳	鳴原 貴史 蓬田 祐子
上下水道課	遠藤 喜正		水道係 ☎ 585-2997	穴戸 浩寿	村上 正幸 鈴木 雅也 関口 七実
			下水道係 ☎ 585-2984	村上 幸平	吾妻 健一
発災対策課	蓬田 英右	主幹 羽根洋一	企画管理係 ☎ 585-2158	(羽根 洋一)	齋藤 雅敬 (嘱託員2名)
			除染対策係 ☎ 585-2158	榊 英則	大竹 由樹 徳江 宏行
会計課	会計管理者 (参事兼会計課長) 武田 智	補佐 菊地富子	出納係 ☎ 585-2700	(菊地 富子)	横山 裕子
議会事務局	参事兼事務局長 佐藤 政弘		議会事務局 ☎ 585-3295		豊野 好洋
(教育委員会) 学校教育課	参事兼教育次長 (学校教育課長) 羽根田孝司	指導主事 《齋藤 雅敏》 補佐 佐久間正	学校教育係 ☎ 585-2892	中田 利枝	大勝 晴美
(教育委員会) 幼児教育課	引地 由則		給食センター ☎ 529-1551	所長 (佐久間 正)	
			幼児教育係 ☎ 585-2119	中山ミエ子	木村 恒夫
			くにみ幼稚園 ☎ 585-2882	副園長 菊地 啓子	松浦 希 遠藤 枝里 佐久間翔子 小泉 理沙 田沼 知恵 小川めぐみ 梅谷 思保
(教育委員会) 生涯学習課	武田 正裕 (公民館長)		保育所 ☎ 585-2374	所長 阿部 正子	鎌水 伸江 清野 真純 羽田 里美 中田 千尋
			社会教育係 ☎ 585-2676	黒澤 敦子	中野由起子 大栗 行貴
			文化スポーツ係 ☎ 585-2676	石澤 廣	菅野 尚基

* () は兼務職員、《 》は、県及び他市町村からの派遣職員



岡崎忠昭教育長

教育長に岡崎忠昭氏(60)が4月1日就任しました。任期は前教育長の残任期間の平成26年6月末まで。岡崎氏は、伊達市立桃陵中学校長、県北教育事務所職員などを歴任しました。



佐藤弘利副町長

副町長に佐藤弘利氏(58)が4月1日就任しました。任期は4年間。佐藤弘利氏は昭和29年生まれ、昭和54年に国見町職員となり、これまで教育次長兼学校教育課長などを歴任しました。



職員に見送られ退庁する退職職員の皆さん

町職員定期人事異動
3月29日平成24年度退職する一般職員3名に対する辞令交付が行われました。また、平成25年度定期人事異動による辞令交付が4月1日に行われ、新採用職員5名も辞令の交付を受けました。さらに、福島県より2名、千葉県君津市より1名の派遣職員にも辞令が交付され、新年度の体制がスタートしました。
●退職者(3月31日付)
武田 幹夫 (参事兼総務課長)
安田 博三 (参事兼企画情報課長)
佐藤 弘利 (参事兼教育次長兼兼学校
教育課長)

原発災害対策課、会計課に名称変更
4月より、原発災害対策室を除染の推進を図るため**原発災害対策課**へ昇格させ、係を企画管理係と除染対策係へ再編しました。原発災害対策課は、国見町観月台文化センター3階第1研修室にあります。また、会計室を組織名称を統一するため**会計課**へ名称変更いたしました。

まちづくり交流推進室を設置
町では、「道の駅」整備を進めてきましたが、震災による商店街活性化策の必要性や原発事故による農産物の風評被害など、大震災を境に町をとりまく環境が大きく変化しました。そこで、「道の駅」を核としながらも、町民相互あるいは町外の方との交流の場として、農商工一体となった施設の整備を目指し、まちづくり交流推進室を設置しました。室長には福島県より派遣された小林課長補佐が配属されました。今後は、農商工一体となった交流拠点の整備に向け福島県の支援を受けながら進めて行くこととなります。

●派遣職員(4月1日付)
齋藤 雅敏《福島県教育庁》
(学校教育課指導主事)
小林 孝《福島県》
(産業振興課課長補佐兼まちづくり交流推進室長)
宮城 昭三《千葉県君津市》
(総務課主任主査)

町民相談室を設置
”お気軽に相談ください。業務に精通した嘱託員がご相談をお受けします。”
町では、町民の皆様からの様々な相談に、町民の皆様の視点でお応えするため4月1日より「町民相談室」を設置いたしました。この係に聞けば良いか分からない。「どの声にどうお応えするか」との声を伺って相談を一括して伺い、分かりやすく回答することとさせていただきます。是非ご利用ください。また、役場仮庁舎の文化センター正面入口には1月より「総合案内」を



設けておりますが、一月当り700件の利用があります。今後もお気軽に声をかけて下さい。

火の守り、新体制スタート

国見町消防団辞令交付

国見町消防団の辞令交付式が4月1日、観月台文化センターで行われ、1期2年間消防団長の任を全うし、火災予防にご尽力された吉田春夫氏ほか退職団員10人に退職辞令が交付されました。



太田町長から辞令を受ける鈴木団長

続いて、太田町長から新消防団長の鈴木耕治氏に辞令が交付されました。また、新副団長の佐藤誠氏ほか再任団員23人及び階級異動団員26人、新入団員には鈴木団長から辞令が交付され、新たな体制での「火の守り」がスタートしました。



佐藤 誠 副団長



鈴木耕治 団長

◆退職団員(敬称略)

(3月31日付)

階級	氏名
団長	吉田 春夫
部長	岡崎 長市
部長	菊地 吉伴
部長	高橋 俊郎
部長	蓬田 吉夫
部長	菊地 隆志
部長	武田 将幸
部長	渡邊 宏之
部長	後藤 浩幸
部長	佐久間 寿晴
団員	玉手 宏治

◆新入団員(敬称略)

(4月1日付)

1分団1部	高橋 博
1分団3部	赤坂 和則
2分団1部	大和田 健智
2分団2部	榊枝 大
3分団2部	村上 晋一
4分団1部	鈴木 英穂
4分団1部	桜沢 生
5分団2部	後藤 喜勝
5分団3部	村上 和臣

難病患者の方も 障害福祉サービス等の 対象者になります

平成25年4月から「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(障害者総合支援法)に改正されます。この法律では、障がい者の範囲に「難病等」が追加され、身体障害者手帳の所持の有無にかかわらず、必要と認められた障害福祉サービス等を利用することが出来ます。



【対象者】

障害福祉サービス等の対象となる疾病(130疾病)のある方

※対象130疾患は、難病情報センターホームページの臨床調査研究分野の対象疾患(130疾患)一覧表をご覧ください。保健福祉課社会福祉係までお問い合わせください。

【利用できるサービス等】

▽障害福祉サービス、相談支援、補装具及び地域生活支援事業(障がい児・障がい者)
▽障害児通所支援及び障害児入所支援(障がい児)

【手続き】

医師の診断書または特定疾患医療受給者証等を持参

のうえ、保健福祉課社会福祉係まで申請してください。その後、障害程度区分の認定や支給決定等の手続きを経て必要と認められた場合は、サービスを利用することが出来ます。

◆問い合わせ

保健福祉課社会福祉係
☎585-2793

県から町への権限移譲で 申請窓口が変わります

福島県からの権限移譲に伴い、平成25年4月から自立支援医療(育成医療)と未熟児養育医療の申請窓口が福島県から町に変更となります。

県から町に移譲された事務	今までの県の窓口	4月からの町の窓口
自立支援医療(育成医療)	県北保健福祉事務所	保健福祉課(社会福祉係)
未熟児養育医療	県北保健福祉事務所	保健福祉課(保健係)

◆問い合わせ

自立支援医療(育成医療) 保健福祉課社会福祉係 ☎585-2793
未熟児養育医療 保健福祉課保健係 ☎585-2783

教育の向上に尽力

教職員離・着任式

町教職員の離任式が3月29日に行われ、9人の教職員が別れを告げました。



町教職員離任式(3/29)



町教職員着任式(4/1)

4月1日には、町教職員着任式が行われ、8人の教職員が町内の小・中学校へ着任しました。

転入				転出			
学校名	職名	氏名	前任校	学校名	職名	氏名	新任校
国見小	教頭	堀部 誠	川俣小	国見小	教頭	伊藤久美子	渡辺小(校長)
"	教諭	高橋 秀幸	湖南小	"	教諭	金子 明洋	県教育庁文化財課
"	教諭	本多 路子	喜多方二小	"	教諭	石川 淳	保原小
"	教諭	渡辺 千咲	鹿島小	"	教諭	丹治 恵子	三河台小
"	教諭	渡辺 邦喜	堰本小	"	教諭	木村 至郎	福大付属特別支援学校
				"	教諭	榎本 敦子	退職
県北中	教頭	吉田 牧子	茂庭中	県北中	教頭	渡部 朋史	会津教育事務所
"	教諭	青木 秀正	岳陽中	"	教諭	君島さやか	桃陵中
"	教諭	尾形 健三	松陽中	"	教諭	菅野 典子	福島養護学校

合併処理浄化槽設置整備事業について

家庭から出る生活排水による公共用水域の水質保全と生活環境の改善、また公衆衛生の向上を図るため、合併処理浄化槽を設置しようとする方（下水道事業計画区域外の方）に対して、町の予算の範囲内において補助金を交付しております。また、平成21年4月から補助金の交付対象が一部変更となり、従来の浄化槽設置費用の補助に加え、下記の条件を満たす場合は、単独処理浄化槽および汲取り便槽の撤去費用が補助の対象となります。

◆浄化槽の補助金について

町が定める地域内において、処理対象人数10人槽以内の合併処理浄化槽を設置しようとする町民の方に補助金を交付します。ただし、併用住宅（店舗兼住宅等）については、住居部分が延床面積の1/2以上のものを住宅用途として補助しません。

人槽区分	浄化槽の補助金 (限度額)
5人槽	332,000円
7人槽	414,000円
10人槽	548,000円

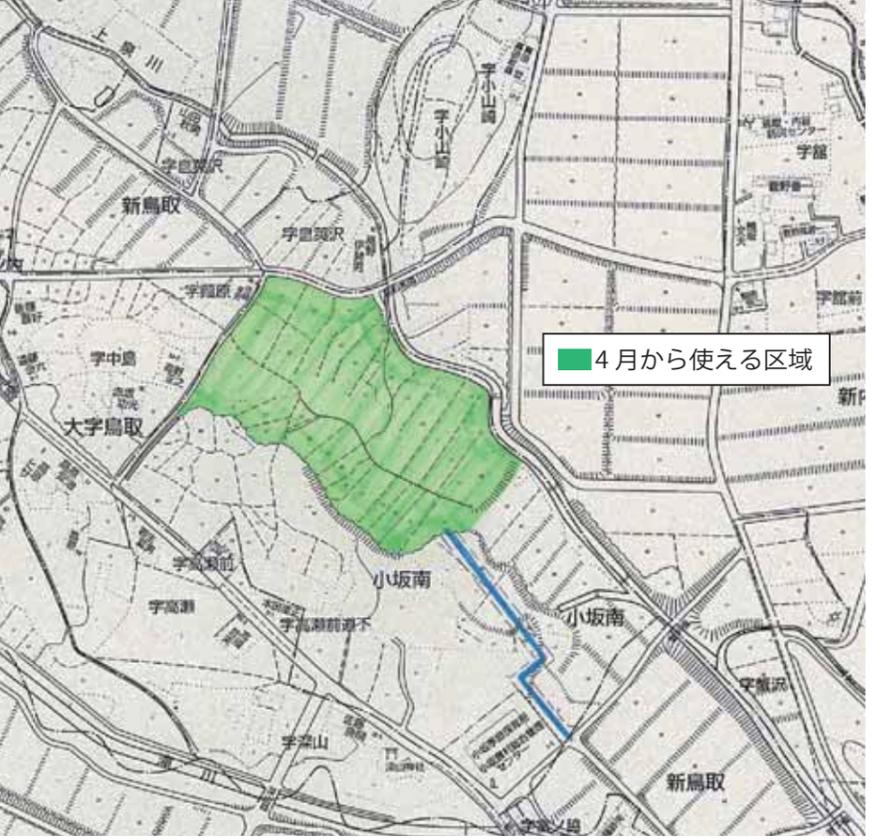
◆撤去費用補助金について

現在、使用している単独処理浄化槽や汲取り便槽を合併処理浄化槽に転換する場合、単独処理浄化槽および汲取り便槽の撤去費用を補助します。ただし、次の条件に該当する方のみを対象となります。

区 分	撤去費用補助金 (限度額)
新たに設置される合併処理浄化槽の位置と従前の単独処理浄化槽が設置されていた位置と一部でも重なっている場合及び単独処理浄化槽の撤去跡地に浄化槽が設置できない場合であって同一敷地内に合併処理浄化槽が設置される場合	45,000円
上記に記載された以外の場所	30,000円

公共下水道の供用区域が広がりました

公共下水道管きよ整備は、昭和63年度から進めています。平成25年4月から利用できる区域は、新たに2.0haが加わり、合計で137.3ha、1、837世帯が衛生的で快適な暮らしができるようになりました。



4月から使える区域

4月から下水道が使える地区
小坂南地内（特別養護老人ホーム国見の里）

◆浄化槽法第11条に基づく法定検査の実施について

この検査は、浄化槽法（昭和58年法律第43号）は、生活排水の適正な処理を図り生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的として制定しています。同法第11条の規定により、浄化槽管理者（設置者）は毎年1回、指定検査機関の行う定期検査を受けなければならないとされています。実施していない浄化槽管理者は、下記の検査機関までにお問合せ、お申込みください。

【県知事指定検査機関】

社団法人 福島県浄化槽協会
浄化槽検査委員会 福島支所
〒960-8055
福島市野田町1丁目16番35号
☎024-531-1766
※検査に関する問合せは、上記の検査機関または浄化槽の維持管理を委託している浄化槽保守点検業者へお問合せください。

国見町フォトコンテスト

最優秀賞に武田幸吉さん（国見町）

第17回国見町フォトコンテスト審査会が3月11日開かれ、応募作品39点の中から審査委員長の六角宥子氏（二科会写真部理事）をはじめ太田町長ら6名の審査委員による審査の結果、次の方々が入選しました。

最優秀賞に輝いた武田幸吉さんは「民俗芸能写真の団体の副会長をしているので、国見町の祭りは毎年撮っています。撮影のときは、みんなが気付かないような場面を見つけるようにしています。これからも民俗芸能写真を撮り続けたい

と思います」と喜びを語ってくださいました。

◆入選者（敬称略）

- ▼最優秀賞：武田幸吉（国見町）
- ▼優秀賞：秦宏（国見町）、赤坂齋（福島民報社賞：吉田光江（国見町）
- ▼福島民友新聞社賞：平野隆一（茨城）
- ▼入選：近藤正男（桑折町）、原田勇二（伊達市）、佐藤武宣（国見町）、遠藤トシ子（国見町）、佐藤尚久（国見町）
- ▼佳作：丹治美知夫（福島市）、坂本礼三（福島市）、齋藤容子（桑折町）、古小高讓（国見町）、八巻忠一（国見町）



最優秀賞 武田幸吉さん（国見町）
「祭りのクライマックス」



優秀賞 赤坂 齋さん（国見町）
「絆の灯火」



民友新聞社賞 平野隆一さん（茨城）
「天国の冬」



福島民報社賞 吉田光江さん（国見町）
「春爛漫」



優秀賞 秦宏さん（国見町）
「国見の大藤」

太陽光発電設備への補助を継続します

町では、地球温暖化防止対策や新エネルギーの普及を積極的に支援し、地球環境の負荷軽減を図ることを目的として、住宅用太陽光発電設備を設置する方へ、昨年に引き続き設置費用を支援します。

補助の対象となる設備

補助の対象となる設備は、次に掲げる全ての要件を満たした方です。

- (1) 余剰電力を電力会社に送電できるよう、設備を商用電力と連系しているもの
- (2) 設備の最大出力が10kW未満であるもの
- (3) 申請する時に未使用の設備

補助金の額

1キロワット3万円とし、5キロワット(上限)の補助額とします。

※最大出力1キロワットを単位とし、小数点第2位を四捨五入した数値(その数値が5キロワットを超えるときは、5キロワット)とします。

補助の対象となる方

補助の対象となる方は、次に掲げる全ての要件を満たす方です。

- (1) 国見町内に自らが居住している又は居住しようとする住宅に対象となる設備を設置する方、又は町内のシステムが設置された住宅等を購入し、居住しようとする方

- (2) 申請年度内に、電力会社と太陽光発電余剰電力の受給を開始した方
- (3) 町税等の滞納がない方
- (4) 過去に太陽光発電システム設置に関して、町から補助金の交付を受けていない方

Q: 申請時は町外に住んでいて、太陽光発電付きの家を国見町内に建築し、引越す予定ですが、補助対象になりますか?

A: 申請時は町外に住んでいて、太陽光発電付きの家を国見町内に建築し、引越す予定ですが、補助対象になりません。自ら居住する住宅が

Q: 申請年度内に、電力会社と太陽光発電余剰電力の受給を開始した方

A: 申請時は、契約書などで建築場所が国見町内であることを確認し、実績報告の際に、転居後の写真と住民票により確認します。

Q: 借家に住んでいますが、屋根に太陽光発電システムを設置したい。補助対象になりますか?

A: 対象になりますが、所有者の承諾書(任意様式)を添付していただきます。

◆問い合わせ
企画情報課企画情報係
☎585-2927

計算例

- ・3.39kWのシステムを設置した場合の補助額の算出方法
 $30,000 \text{円} \times 3.4 \text{kW} = 102,000 \text{円}$
- ・7.5kWの太陽光発電システムを設置した場合の補助額の算出方法
 $30,000 \text{円} \times 5.0 \text{kW} = 150,000 \text{円}$

補助金交付に必要な書類

次の書類をおおむね着工の10日前までに役場企画情報課に提出してください。

- ①補助金交付申請書
- ②事業計画書
- ③承諾書(共有名義で所有し居住する若しくは居住しようとする町内の住宅等にシステムを設置する方)
- ④納税証明書

(1月1日現在の住所地で証明書交付を受けてください。)

- ⑤補助金手続代行届
- ※その他に設置区分によりそれぞれ次の添付書類が必要となります。

- ◆既存の住宅にシステムを設置
 - ・設置住宅の所在を示す地図
 - ・着工前の現場写真
 - ・工事請負契約書の写し及び内訳明細書
 - ・対象システムの性能を示す書類
 - ・振込口座がわかる預金通帳の写し

- ◆住宅を新築時にシステムを設置
 - ・設置住宅の所在を示す地図
 - ・システムが設置される前の建築中の写真
 - ・対象システム設置に係る経費内訳の確認ができる見積書
 - ・工事請負契約書の写し
 - ・対象システムの性能を示す書類
 - ・振込口座がわかる預金通帳の写し

- ◆システムが設置された住宅を購入
 - ・設置住宅の所在を示す地図
 - ・購入予定住宅の写真
 - ・対象システム設置に係る経費内訳及び発電量の確認ができる書類
 - ・対象システムの性能を示す書類
 - ・振込口座がわかる預金通帳の写し
 - ・その他、町長が必要と認める書類

※システムが設置された住宅を購入する方は、住宅の売買契約前に申請ください。

【注意点】

- ・申請書類を受付後、町で補助金の交付決定通知を送付いたします。着工は決定通知書受理後をお願いします。申請書類を提出後、交付決定が届くまで10日程度かかるため、申請書類は、少なくとも着工の10日程度前には提出するようお願いします。
- ・条件によっては、その他、町長が必要と認める書類の提出を求める場合があります。



安心の遊び場へ 遊具除染進む

子どもの遊び場となる公園など、町内の主要な16カ所（下表のとおり）では、このほど除染作業が終了し、安心して遊べるようになりました。これまで外で遊べなかった子どもたちも、除染したエリアでは、元気に活動できます。

また、国見ニュータウン内の公園など、作業中や未実施のところもありますが、順次進めていきます。



地区	除染が終了した遊び場等の名称等
藤田地区	旧藤田保育所・藤田字中沢三公園・金比羅神社境内・滝山集会所・耕谷集会所 え（観月台公園遊具は芝地養生のため閉鎖）
小坂地区	小坂農村総合管理センター・泉田下集会所
森江野地区	森江野町民センター・長栄寺境内・第4集会所・観音寺境内
大木戸地区	大木戸ふれあいセンター・大木戸字正光寺内公園・高城集会所
大枝地区	東部高齢者等活性化センター・川内集会所

復興再生総局へ要望

3月8日（金）復興庁・福島復興再生総局より浜田昌良副大臣、亀岡偉民復興大臣政務官らが来庁した際、除染の迅速化を含めた復旧・復興関連の要望書を提出し、その実現を強く要請しました。



復興のあしおと

「復興のあしおと」では、震災からの復旧・復興に向けた町の取り組みを紹介します



除染作業講習会 住宅除染に備えて

住宅等の除染に対応するため、除染作業を担う町内業者を対象として、除染作業講習会を3月27日に開催しました。

午前は放射線の基本や測定方法などの基礎的な講習、午後は現場で宅地内のモニタリングや土壌の剥ぎ取り、芝や樹木、建屋の除染方法についての講習を行いました。放射線量の下がり具合を見ながら、ポイン



トを押えた除染作業を進めることが必要との指導がありました。

町民会議役員会開催 仮置場確保の動き報告

東日本大震災復旧復興対策推進国見町民会議役員会が3月26日開催され、仮置場確保に向けた取り組み状況などが報告されました。

仮置場については、各一部毎に確保するとの方針が決定され、現在6カ所を選定して交渉を進めていること、うち3箇所については周辺土地所有者等についても概ね承諾が得られているとの報告がされました。

今後、承諾が得られた土地については、町民会議方部会において仮置場として決定し、土地の調査や設計の続きを進めることになり、併せて、住宅除染の準備を進めることとなります。

また、除染作業を円滑に推進するため、除染推進員を配置することが決定されました。推進員は各地方部の土地や住民の実態に精通し、住民と町、住民と除染請負業者の調整役として役割を担うものです。

渇水対策委員に菊池勝雄さんを新たに選任



3月19日付けで、町渇水対策施設財産管理委員会委員に菊池勝雄さん（山根）が選任され、太田町長から辞令が交付されました。

町渇水対策施設財産管理委員会委員は、7人の委員で構成され、町長が議会の同意を得て選任します。この委員会は、東北新幹線蔵王トンネル掘削のため自然湧水が枯渇した石母田・大木戸の一部、貝田地区全域へのかんがい用水及び雑用水送水施設の管理等を行います。

内谷地区に桜の名所を！

産業振興課産業振興係
TEL 585-2986

この度、（財）日本さくら会から、内谷字桐目木二地区の山林所有者に対し、桜の苗木100本が寄贈されました。

寄贈された桜の苗木は、所有者の皆さんにより一本一本丁寧に植樹されました。

この山林では、所有者の皆さんが、町の里山再生事業により桜の苗木を補植する等、桜の名所づくりと、里山の環境保全を目的とした森づくりを実践しています。



最新の消防車

国見町消防団第2分団第2部（石母田）の消防小型動力ポンプ積載車交付式が3月17日、観月台文化センターで行われました。

交付式では、太田久雄町長より吉田春夫団長に対し消防車両の目録が手渡されました。

これまで石母田地区に配置されていたポンプ積載車は、導入から20年以上経過していたことから、更新したものです。

最新型消防車両の配備により、町の消防力が強化されることとなりました。



募集

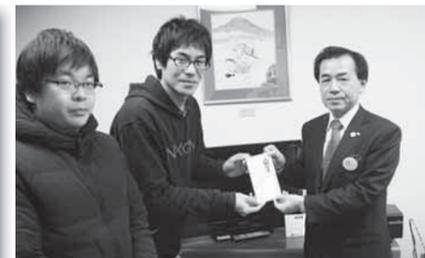
イキイキ子育てクラブ会員

地域子育て支援センター（藤田保育所内）では、次の内容により今年度もクラブを開催します。

- ◆期間 平成25年5月～平成26年2月まで
 - ◆場所 藤田保育所
 - ◆主な活動内容
 - ・親子活動…季節を伴った遊び、親子触れ合い体操など
 - ・子育て学習…調理実習
 - ◆対象 就学前のお子さんを持つ保護者及び祖父
 - ◆申込締切 4月30日（火）まで
- ※申込み等詳しいことについては、土、日、祝日を除く午前10時～午後3時まで直接藤田保育所までご連絡下さい。
- ◆問い合わせ 藤田保育所 ☎ 585-2374

町へふるさと納税 ありがとうございます

嶋田圭悟 さん（京都府京丹後市）



目録を太田町長（右）に手渡す嶋田さん（写真中央）

平成23年10月から平成24年3月までの6カ月間震災対応の事務職員派遣として税務課で勤務していただいた嶋田圭悟さん（京都府京丹後市）より、当町に「ふるさと国見町応援寄付金（ふるさと納税）」をいただきました。この寄付金は安全安心のまちづくり・子育て支援のため役に立っていただきます。

※「ふるさと納税制度」とは、自分が生まれ育った「ふるさと」やこれまで深いかかわりのある地域に、何らかの形で貢献あるいは応援したいという皆さまの思いを寄附金というかたちで実現できる制度です。

応急仮設住宅入居者を激励 曹洞宗管長大本山永平寺貫主の福山諦法禪師



曹洞宗管長大本山永平寺貫主の福山諦法禪師が3月5日、上野台応急仮設住宅を訪れました。福山諦法禪師は、震災で被災した人を励まそうと被災地の仮設住宅を訪問しており、今回国見町を訪れました。福山諦法禪師は、仮設住宅入居者の方々にねぎらいのお言葉をかけられ、永平寺より入居者の皆様へ線香が贈られました。入居者の皆さんからは「やさしいお言葉と励ましをいただき、うれしかった」などの感想が聞かれ、大変感動されていました。

乾燥期前に火の用心を呼びかけ 消防団による初午行事



国見町消防団（吉田春夫団長）による初午行事が3月10日、国見町内で各分団ごとに行われました。初午行事は、春の乾燥する季節を迎える前に、火の用心を呼びかけたり、消防水利の確認をするものです。また、新築された家屋に放水する「火伏せ」も各分団ごとに行われました。※写真は、消防水利の確認をする幹部団員

地方自治の功績により叙勲 佐野正治さん（第9）



元町議会議員の佐野正治さんに対する高齢者叙勲伝達が3月21日、佐野さんの自宅で行われました。伝達式では、福島県東北地方振興局の阿部敏明次長から佐野さんに勲記と勲章（旭日双光章）が伝達され、太田久雄町長、八島博正町議会議員長がお祝いの言葉を述べました。佐野さんは、昭和34年から56年まで6期22年余の永きにわたり町議会議員を務め、昭和56年7月から60年6月までの1期4年間は町収入役として在職し、本町の自治の発展に大きく貢献されました。

伝統文化功労者表彰受賞を報告 内谷春日神社太々神楽保存会



伝統文化活性化国民協会の地域伝統文化功労者表彰に選ばれた内谷春日神社太々神楽保存会（佐藤清二会長）への表彰伝達式が3月14日、県庁で行われました。保存会は、昭和57年に結成以来、途絶えていた内谷春日神社太々神楽を復活させ、30年にわたり太々神楽の保存・伝承活動を続けており、地域における伝統文化の振興と団体育成の功績が認められ受賞となりました。18日に行われた町への表彰報告会では、太田久雄町長が「素晴らしい伝統文化を今後も維持・発展させてほしい」と受賞を称えました。佐藤会長は「今後も地域ともに歩む伝統文化として、後世に伝えていきたい」と述べ、一層の精進を誓いました。※4月21日（日）内谷春日神社例大祭にて奉納

介護講談で聴衆を魅了 講談師田辺鶴瑛氏講演会



国見町社会福祉協議会が主催する介護講演会が3月15日、JA伊達みらい国見会館で開催されました。講演会では、講談師の田辺鶴瑛氏が講師を務め、「鶴瑛の介護講談」をテーマに話しました。田辺氏は「介護は無理をしてはいけない、頑張りすぎないこと。考え方を変わると楽になることがある」など、自分の体験を元に介護についてユーモアを交え、上手に手を抜くことの大切さを語り、会場を訪れた人々を魅了していました。

11回目の義援金を町に寄付 ミュージカル俳優の沢木順さん



国見町で毎年コンサートを開いているミュージカル俳優の沢木順さんは3月11日、町に11回目の義援金を贈りました。復興支援コンサート実行委員会代表を務める阿部裕子さんが役場仮庁舎を訪れ、2月23日に東京で開いた音楽会の際の沢木順オリジナルグッズ復興支援セットの売り上げ23,000円を太田久雄町長に義援金として手渡しました。太田町長は「いつもありがとうございます。沢木さんによるしくお伝えください」とお礼の言葉を述べました。

旧小学校施設の活用について建議 国見町旧小学校施設活用検討委員会



国見町旧小学校施設活用検討委員会（牧田実委員長）は3月11日、旧小坂、大木戸小学校の利活用を検討した建議書をまとめ、太田久雄町長に提出しました。同委員会は、昨年11月に発足以来、現地視察などを行い検討を進めてきました。建議書では、旧小坂小は民間の温泉開発や観光拠点、防災の拠点などへの活用が期待できるとし、旧大木戸小は歴史資料館、農業体験館などの案が盛り込まれました。太田町長は建議を受け「十分に精査して進めたい」と述べ、新年度はそれぞれの地区に分科会を設置し、より具体的な検討を進める考えを示しました。

豊かなむらづくり顕彰表彰を受賞 小坂アグリ株式会社



福島県と福島民友新聞社の主催による「豊かなむらづくり顕彰事業」の表彰式が3月26日、杉妻会館で行われ、小坂アグリ株式会社（代表取締役朽木勝之さん）が福島県知事より表彰を受けました。この賞は、集落等において、農業生産の中心的な役割を担い、生産性の向上、産地の形成、担い手の育成及び環境に配慮した農業生産活動等により農業の維持・発展に寄与し、地域の活性化に大きく貢献している団体に贈られます。小坂アグリ株式会社は、ほ場整備事業を契機として、平成19年に農業生産法人として設立し、集落営農の少ない県北地区において、土地利用型農業の先駆け法人として農地集積を進めていることが大きく評価され、今回の表彰となりました。引き続き、集落営農の手本としてのご活躍が大いに期待されます。

保健 だより

保健福祉課 保健係 ☎ 585--2783
E-mail:hoken@town.kunimi.fukushima.jp

風しんの予防接種で 未来の赤ちゃんを守れます



風しんの報告数が急増しています。～首都圏の報告数が特に多くなっています～
妊婦、とくに妊娠初期の女性が風しんにかかると、赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなど「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。赤ちゃんがそのような生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しんの予防接種を受けることをご検討ください。

女性は妊娠前に

風しんの予防接種をご検討ください

接種後2か月は避妊が必要です。接種回数は子どもの頃の接種を含め2回です

成人男性は

風しんにかかったことがない方、風しんワクチンを受けていない方、どちらも不明な方

接種することをご検討ください

2回接種しても問題はありません

妊娠中の女性の家族は

風しんの予防接種をご検討ください

妊婦は風しんの予防接種を受けられません。1歳児(第1期)と、小学校入学前1年間(第2期)は麻しん風しん混合ワクチンの定期接種を受けましょう

- ◆成人にも多い病気で、特に10代後半～50代前半の男性、10代後半から30代前半の女性が多く発症しています。
- ◆特に昭和54年4月2日～平成7年4月1日生まれの男女は接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした。
- ◆風しんの予防接種は、はしか(麻しん)も一緒に予防できる麻しん風しん混合(MR)ワクチンで受けることをお奨めします。任意接種(費用は自己負担)となりますので、医療機関にお問合わせください。

*** ニコニコ相談会 ***

対象者	実施日	受付時間	会場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	6月19日(水)	午前10時～ 午前11時30分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】 身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。
《持参するもの》 母子健康手帳、お子さんの飲み物(水筒にに入れて)を忘れずに!
《申し込み方法》 前日まで保健福祉課または藤田保育所(☎585-2374)に電話でお申し込みください。

*** 乳児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児(平成25年2月生まれ) ・9か月児(平成24年8月生まれ)	6月27日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】 医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて
9か月児は、歯科衛生士による歯に関するお話も予定しています。
《持参するもの》 母子健康手帳を忘れずに!

*** 1歳6か月児健診 ***

該当児	実施日	受付時間	会場
平成23年10月1日～ 平成23年12月19日生まれの幼児	6月20日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	小坂農村総合管理センター

【健診内容】 内科と歯科の医師の診察、歯科衛生士による歯みがき指導、生活保健指導、身長・体重測定を行います。
心理判定員による相談・指導…子育てに関する不安や悩み等、お気軽にご相談ください。
栄養指導(おやつを試食)もあります。
健診該当者には後日健診票を郵送します。

県・全国大会出場者へ奨励金 鈴木耀里さん(県北中)、佐藤未来さん(県北中) 国見ダイヤモンドスポ少(バレーボール)



国見町青少年育成町民会議(太田久雄会長)は2月28日、県大会や全国大会に出場する町内の小中学生に奨励金を贈りました。奨励金を受けたのは、県中学生バスケットボール選抜チームの鈴木耀里さん(県北中1年)、県中学生ソフトテニス連盟推薦選抜選手の佐藤未来さん(県北中1年)、男子6人制バレーボールの国見ダイヤモンドスポ少の選手。太田久雄町長が奨励金を手渡し、「練習の成果を存分に発揮して頑張ってきてください」と激励し、選手たちは大会での活躍を誓いました。

※写真は、左前列から渡辺耕太郎さん、工藤彰悟さん、秋葉歩夢さん(国見ダイヤモンドスポ少)、後列左から鈴木耀里さん、太田町長、佐藤未来さん

まちのわだい

ライブで復興支援 フォークデュオ「ふたり」が来町



東日本大震災から2年を迎えた3月11日、フォークデュオの「ふたり」が国見町を訪れました。今回ふたりの皆さんは、3.11に合わせ東北自動車道国見サービスエリア下り線などで復興支援ライブを行い、3月にリリースしたGReeeeNの震災復興プロジェクトカバー曲「green boys」や国見サービスエリアでのエピソードから生まれた「small cherry」などの曲を披露するなど、復興支援の取り組みを行いました。

柿ジュースで地域おこし 「果菜米・・・くにみ」で試作



農産物加工グループ「果菜米・・・くにみ」(佐久間久子会長)は、原発事故に伴う放射能の影響で加工を自粛しているあんぼ柿の原料柿を使った柿ジュースを試作しました。果菜米は、町内の女性農業者など10人で昨年7月に発足し、山際食彩工房(会津若松市)の山際博美代表を講師に招いた研修会をきっかけに、柿ジュースの商品化に取り組みました。試作品は、柿を搾り蜂蜜やレモン果汁、水を加えて味のバランスを整えながら仕上げました。佐久間会長は「柿の美味しさや栄養バランスの良さをアピールしたい」とのことで、商品化されれば農産物直売所等で販売する計画です。

要援護者の方を支援 救急医療情報キットを配付



町では、災害時要援護者避難支援プラン作成を進めていますが、同意を得た方を対象に、地元の民生委員が救急医療情報キットを配付しました。救急医療情報キットは、要援護者の方の個人情報や緊急連絡先、かかりつけ医療機関などを記入した用紙を円筒形の筒(赤いキャップが目印)に入れ家庭内に備えておくもので、一般的には冷蔵庫に保管しておくこととされています。いざという時には、要援護者の方を発見した人や救急隊が冷蔵庫に保管されている情報を利用して迅速に初期対応ができることとなります。

「笑顔のひろば」では、
保育所・幼稚園
小学校・中学校の
話題を紹介します。

笑顔のひろば

感謝の気持ちを込めて発表 国見小「6年生を送る会」



1年生から6年生へのプレゼント 在校生に迎え入れ入場する6年生

国見小学校では3月5日、「6年生を送る会」を開きました。在校生は、お世話になった6年生への感謝の気持ちを込めて各学年ごとに発表し、「ありがとうございました。中学校に行っても頑張ってください」などのお礼の言葉を添えて6年生へプレゼントを贈りました。

絵手紙作文コンクール表彰

佐藤菜子さん
(国見小2年)



国見小学校では2月28日、日本郵便主催の手紙作文コンクールの絵手紙部門で暑中見舞い賞を受賞した佐藤菜子さん(2年)に力丸広福島東郵便局長より賞状と記念品が贈られました。佐藤さんは、担任の先生宛にクレヨンとちぎり絵でトウモロコシを描いた絵手紙を制作し、東北で唯一同賞を受賞しました。

暴力団排除標語コンクール 県北中で表彰式



写真は、左から市川さん、引地さん、佐久間さん、大槻さん、八巻さん

県北中学校では3月5日、桑折・国見地区暴力団排除標語コンクール表彰式が開かれました。今年は県北中生から189点の応募があり、最優秀賞1点と優秀賞4点が選ばれました。

【入賞者】

- 最優秀賞 八巻 佳乃さん(2年)
- 優秀賞 大槻 日和さん(1年)
- 優秀賞 佐久間雄大さん(2年)
- 優秀賞 引地 理彩さん(2年)
- 優秀賞 市川 遥さん(2年)

ダンスで中学生を激励 EXILE MAKIDAIさん



人気グループEXILEのメンバーMAKIDAIさんが3月10日、国見町を訪れ中学生と交流しました。日本テレビ朝の情報番組『ZIP!』の「なりきりDANCEシアター」のコーナーに大津祐太さん(県北中2年)が投稿したことがきっかけで実現し、「震災から2年 福島の子もたち」と題して放送されました。MAKIDAIさんが来ることを知らなかった中学生は、驚いた表情を見せながらも、原発事故から2年経過した今の生活・不安・今後の思いを語り合った後、MAKIDAIさんからダンスの指導を受け「Choo Choo TRAIN」を一緒に踊り元気をもらいました。大津君は「まさか来るとは思わなかったのでビックリしました。自分の憧れているMAKIDAIさんとダンスが出来るととても嬉しかったです」と一緒に踊った感想を話してくださいました。



卒業・修了 おめでとう

春は別れの季節。学び舎でのたくさんの思い出を胸に、それぞれ新しい道へと旅立ちました。

【藤田保育所】

①修了証書授与 ②お別れの歌

【森江野・小坂季節保育所】

③お別れの歌 ④修了証書授与

【大枝・大木戸季節保育所】

⑤お別れの歌 ⑥修了証書授与

【国見小学校】

⑦校歌斉唱 ⑧卒業証書授与

⑨在校生に見送られ校舎を後にする卒業生

【県北中学校】

⑩先生のお別れ ⑪卒業記念写真

⑫卒業証書授与 ⑬式歌を歌う卒業生



くらしの 情報

お知らせ

学生の国民年金保険料猶予制度

所得が少なく保険料を納めることが困難な20歳以上の学生の方は、保険料の納付が猶予される『学生納付特例制度』をご利用いただけます。

学生納付特例の承認を受けると、その期間中の障害や死亡といった不慮の事態には、障害基礎年金・遺族基礎年金を受け取ることができません。また、承認を受けた過去の期間の保険料は、10年前までさかのぼって

納めることができるため、社会人になってから追納（後払い）すると年金額に反映することができません。

申請は毎年必要です。

平成25年度分の学生納付特例の申請は4月から受付となりますので、希望される方は、年金手帳、学生証の写し又は在学証明書、印鑑をお持ちになり役場保健福祉課で申請してください。

なお、平成24年度において学生納付特例制度を申請し、保険料納付を猶予されている方で、平成25年度も引き続き在学予定の方は、基礎年金番号等が印字されたハガキ形式の学生納付特例申請書が3月末に送付されています。平成24年度と同じ学校等に在学される方は、このハガキに必要記載事項を記入し返送され、平成25年度も学生納付特例の申請ができます。この場合は、在学証明書等の添付は不要です。

また、平成25年度は学生納付特例制度を利用せず、

保険料の納付を希望される場合は納付書を送付いたしますので、お手数ですがお近くの年金事務所にご連絡ください。

◆問い合わせ

保健福祉課国保係
☎585-2785
東北福島年金事務所
☎535-0141

水道管の水漏れ発見のお願い

町では、毎年専門業者に委託して漏水調査を実施していますが、全ての漏水を発見するには至っておりません。引き続き貴重な水を無駄にしないため漏水調査を実施し、漏水の発見・解消に努めていきますが、町民の皆様のご協力が不可欠です。もし、道路上など原因不明の水が流れているなど漏水の疑いのある場所を発見されましたら、下水道課水道係へご連絡くださいますようお願いいたします。

◆連絡先
上下水道課水道係
☎585-2997
夜間休日
☎090-2796-5300

県民健康管理調査基本調査問診票の出前書き方説明会・相談会

県と県立医科大学では、「県民健康管理調査 基本調査問診票」に関する出前書き方説明会・相談会を皆様のご要望に応じて開催します。

開催日時は、土・日・祝祭日を除く午前9時から午後4時までの間で、1回当たり10名・15名までの相談が可能です。

詳しくは、県立医科大学 県民健康管理センターまでお問い合わせください。

◆問い合わせ
福島県立医科大学 県民健康管理センター
☎024-547-1786
HP『あなたの健康、見守ります。』で検索

自動車税の納期は5月31日（金）です

コンビニでも納付できます

自動車税は、毎年4月1日現在の自動車の所有者（又は使用者）に課税される県の税金です。

平成25年度の自動車納税通知書は、5月8日（水）に各福島県地方振興局から一斉に送付されますので、最寄りの金融機関又はコンビニエンスストア等で納期限の5月31日（金）までに納税されますようお願いいたします。

納税証明書は保管してください

4月1日以降、他県に移転登録をし、そこで車検を受ける場合にも、福島県の納税証明書が必要となりますので、車検用の納税証明書は車検書といっしょに大切に保管してください。

◆変更があったら届出を
自動車を譲渡したとき、使用しなくなったとき、住所を移転したとき等は、お早めに運輸支局等で登録手続きをすませましょう。

◆問い合わせ

【自動車税】
福島県北地方振興局県税
部 自動車税チーム
福島中町1-19中町ビル6階

はかりの定期検査

商店・工場・事業所等で「取引や証明行為」に使われているはかりは、計量法により2年に1回の定期検査を受ける必要があります。

事前調査をまだ受けていない方、定期検査についてわからないことがあります。お問い合わせください。

◆問い合わせ

産業振興課産業振興係
☎585-2986

【集合検査】

集合検査会場を実施します。ひょう量が500kg以下の一般小型はかりが該当します。

【所在場所検査】

はかりの所在場所（商店・工場・事業所等）で実施します。検査には大型はかりや電気式はかりが該当します。

◆検査日等

【集合検査】 5月8日（水）9時30分～11時30分
※観月台文化センター（北側駐車場）で開催予定。

【所在場所検査】

4月8日（月）～12日（金）
◆問い合わせ
産業振興課産業振興係
☎585-2986

戸籍の窓口

2月21日～3月20日受付分

●結婚おめでとう●

緑上 和幸さん（板橋南）
大野佑里子さん

●誕生おめでとう●

菊地 伊織ちゃん（藤田宮前）
貴雄さん 明日香さん
菊地 結恵ちゃん（宮町北）
渉さん 七恵さん

●おくやみ申し上げます●

佐藤 正善さん 80（第3）
小室 弘さん 76（山崎宮館）
小西 邦子さん 79（大町南）
福原 リツさん 90（山崎宮館）
大津チヨ子さん 68（第4）
高橋 正男さん 73（山崎北）
阿部 隆夫さん 81（大木戸）
樋口 ハナさん 92（錦町）
佐野 貞治さん 101（第8）
志村 良次さん 72（大木戸）

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

平成25年 2月28日現在
人口 10,038人（△13）
男 4,831人（△7）
女 5,207人（△6）
世帯 3,332世帯（+1）
※ 広報くにみでは住民基本台帳人口を掲載しています。

【心配ごと相談】

・開催日及び相談員
9日（木）松浦 知弘さん
鈴木 道代さん
23日（木）高野 俊久さん
佐藤 正子さん
・場所 観月台文化センター 第2和室
・時間 午前9時～正午

【障がい者相談】

・開催日 21日（火）
・場所 観月台文化センター 保健指導室
・時間 午前10時～午後4時
※障がい者に関する様々な相談を受付しますので、ぜひご利用ください。

5月の相談会

農業委員会 総会の日程

農業委員会の総会では、農地の貸借や売買、転用、農業行政への建議等を審議します。総会は公開です。傍聴を希望される方は、開会時間までにおいでください。

・日時 4月22日（月）午後1時30分
・日時 5月20日（月）午後1時30分
・場所 観月台文化センター 大研修室
◆問い合わせ 農業委員会事務局 ☎585-2890

平成25年度も継続します



●毎週金曜日 10:00～10:55 ON AIR! ●
放送局：ふくしまFM 81.8MHz
番組では、皆さんからの情報をお待ちしています。
◆問い合わせ 産業振興課 ☎585-2986

生涯学習 つうしん



国見町教育委員会生涯学習課
 (観月台文化センター)
 ☎(585)2676 FAX(585)2707
 E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp
 http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

行事のお知らせ

- << 4月 >>
- 13日(土)みみずく「おはなし会」
- 21日(日)家庭の日
- 25日(木)ブックスタート
- 26日(金)成人学級「開講式」
- << 5月 >>
- 7日(火)休館日
- 9日(木)阿津賀志学級「開講式」
子ども移動図書館(国見小3年生)
- 11日(土)少年仲間づくり教室「開講式」
- 15日(水)くにみ女性教室「開講式」
- 16日(木)ブックスタート
- 19日(日)町長杯スポーツ大会総合開会式
(上野台総合運動場)
家庭の日
- 21日(火)子ども移動図書館(国見小2年生)
- 23日(木)子ども移動図書館(国見小1年生)
- 25日(土)町長杯スポーツ大会
国見っ子わんぱく広場「開所式」
- 26日(日)町長杯スポーツ大会
- 28日(火)阿津賀志学級「交通教室」

お知らせ

観月台文化センター第1研修室の利用制限について
 役場機能移転のため、下記のとおり利用ができません。利用者皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

◆対象施設
 観月台文化センター第1研修室(3F)
 ※原発災害対策課執務室となります

◆利用制限期間(予定)
 平成25年4月から8月中旬まで

らくちん! 子どものヘルシーランチ



真剣な表情で説明を聞く子どもたち

今回は、進藤靖子先生(日本製粉株式会社仙台支店クッキングパートナー)より指導を受け、塩麴の豆乳クリームパスタ・サツマイモの食べるスープ・黒糖蒸しパンの3品に挑戦しました。進藤先生の丁寧で分かりやすい説明を聞き、わからないところは質問しながら親子で楽しく料理に取り組み姿がみられました。また、子どもにはできるだけ早い時期に料理の楽しさを体験させた方が料理好きの子に育つことや、豆乳やオリーブオイルを使うことでヘルシーな献立に仕上がることも学びました。



親子でクッキングに挑戦

会食後、子ども達からは「苦手だったキノコが食べられるようになった。」保護者の方からは「集中する子どもの姿が見られてよかったです。」などの感想が聞かれました。春休みの初日、家族でふれあい美味しいひとときを過ごすことができました。

魅力はわくわく感です!

町民講座「切り絵教室」は、3月5日、12日の両日に瓶子美千子氏(手工芸愛好家)を講師に迎え、受講生19名で実施しました。第1回「簡単にできるオシャレな額飾り」は、東欧風切り絵を基調とした花や鳥などデザインのパターンの切り絵に挑戦しました。第2回「鳥のモビール作り」は、蠟和紙で折った鳥の羽根をモビールにバランスよく下げる作業に悪戦苦闘しながらも、集中して作品を完成させました。受講者は、折り畳んだ紙を広げる際のわくわく感と



切り絵教室講師(前列中央)と受講者のみなさん

大盛り上がり! 2年間の思い出ビンゴ



ビンゴ大会で盛り上がる教室生

式では、放課後子ども教室運営委員会長と公民館長からあいさつがあり、児童2名から楽しかった活動の発表、その後全員で歌を歌いました。最後の活動では、ドッチビーや竹細工の鉄砲などで思い切り身体を動かして遊び、第一和室に移動後は、会食を楽しみながら、一年間の活動メニューをキーワードにした思い出ビンゴ大会で活動をふり返り大いに盛り上がりました。

スポーツ

剣禅一如の精神で

第11回国見町剣道祭は、3月24日に柏葉体育館で開催され、午前の錬成試合には県北地方や白石市から約100名の小中学生が出場して熱戦が繰り広げられました。また、午後からは駒澤大学の学生や地元指導者も交じり、200名程の剣士が一堂に会して盛大に稽古会が開催されました。町内参加者の成績は次のとおりです。

【個人・中学生の部】
 第3位: 赤井畑 誼(佐武館)



鍛錬の成果を発揮する選手ら

町長杯スポーツ大会 出場者募集!!

◆競技種目・会場

日 時	競技種目	会 場
5月19日(日) 午前9時30分	軟式野球	上野台総合運動場
	テニス(男複・女複)	上野台テニスコート
5月25日(土) 午前9時00分	グラウンドゴルフ	上野台総合運動場
5月26日(日) 午前9時00分	ソフトボール	上野台総合運動場
	家庭バレーボール	文化センター体育館

- 総合開会式 5月19日(日)9:00 上野台運動公園総合運動場
- 表彰式 観月台文化センター 入賞者に別途案内します。
- 代表者会議 5月9日(木)19:00 観月台文化センター

◆参加資格

- 町内在住、在勤の社会人又はそれで編成したチーム
- 町体育協会会員又は加盟チーム
- 町内同一職場又は事務所で編成したチーム

【申し込み】
 5月6日(月)まで

【問い合わせ】
 生涯学習課文化スポーツ係
 (☎585-2676)

※大会要項・参加申込書は、観月台文化センター窓口で配布しています。

参加無料

昔の生活を学んだよ
 旧佐藤家住宅」社会科見学

2月25日に国見小学校3年生の児童89名が、社会科見学で県指定重要文化財「旧佐藤家住宅」を訪れ、町文化財ボランティア3名から説明を受けました。児童たちは、古民家と民具を実際に見て学びました。また、明治から戦後にかけて県内で撮影されたビデオ映像を鑑賞し、当時の様子について解説を聴きました。



旧佐藤家住宅を見学する児童たち

たが、古民家の中の寒さや温かさ、茅葺屋根や土壁・デコボコした柱などを体感し、昔のくらしの知恵や苦労を知る機会となりました。



まちのサークル

VOL19 みんなで楽しく料理に挑戦

あつかし料理クラブ

プロフィール

- ・代表者 松浦 一彦
- ・活動日 毎月第3火曜日
- ・主な活動場所 観月台文化センター栄養調理室
- ・会員数 13名
- ・会費 3,000円/年 実習の都度300円
- ・問い合わせ 松浦 一彦 ☎585-4947

最近、料理に関心を持つ男性が増えています。気の合う仲間たちと楽しみながら、料理に腕を振るっているグループ、それが「あつかし料理クラブ」です。みんなで楽しく料理に挑戦しようと、料理好きな仲間が集まり、平成22年4月に結成しました。結成当初は、寺島詔先生と岩野和子先生を講師に招き指導いただきましたが、現在は、杉崎一江先生の指導のもと、男性メンバー13人が会員同士の親睦を図りながら料理作りを楽しんでいます。

互いに味の感想を述べながら、和気あいあい食事をして楽しみます。難しい調理技術や知識等よりも、とにかく楽しく会員の親睦をモットーに活動しています。

活動を通して献立や調理方法を考えたりする楽しさや、自分の手で一つ一つ料理を作っていく楽しさ。そして、一緒に料理を作ったり、作った料理を食べたりする仲間の輪が広がる楽しさ。そんな楽しさを実感しています。さらに、自分で料理を作ること、家事がこなせるようになるだけでなく、自分の健康管理にもつながります。

また、料理教室の他に、買い物ツアーやグルメツアーも行っています。料理を通しての仲間との交流も面白さの一つです。

あつかし料理クラブの代表を務める松浦一彦さんは「一品でも多くの料理をできるようにしたい。料理のちよつとしたコツを学ぶのが楽しみ。自己満足ではありませんが、家族もびつくりし喜ぶ姿が楽しみです。貴方の株が上がるのは間違いなしです」と話して下さいました。

最近では、料理をする男性が増えてきています。アットホームな雰囲気の中で、料理の楽しさを体験してみたいかがでしょうか。

▶国見小学校はじめての卒業生



小さな天才たち

県北中学校



五十嵐 真結 (2年) 安藤 千紘 (1年) 板橋 優希 (2年) 齊藤 萌可 (1年) 安藤 祥都 (1年)

※学年は進級前の学年です。

あとかぎ

春は出会いと別れの季節。中学校を皮切りに幼稚園、小学校、保育所と町内の卒業式を取材で訪れました。どの会場でも、卒業生と間近に接し、カメラ越しにも感動で胸がいっぱいになりました。さて、私も卒業の春を迎えました。1年間と短い期間ではありましたが、この間多くの町民の皆さんに様々な場面で大変お世話になりました。取材でお世話になった皆さん、広報くみに読んでいただいた皆さん、1年間ありがとうございました。(K.N)



この印刷物は、「大豆油インキ」を使用して印刷したものです。



国見町

〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字観月台15 国見町観月台文化センター内 国見町役場 (仮庁舎)

TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2181 E-mail kikaku@town.kunimi.fukushima.jp URL www.town.kunimi.fukushima.jp/